

小学校道徳教科書における「礼儀」教材の掲載状況に関する 一考察

A Study on the Status of "Manners" Materials in Elementary School Moral Textbooks

柴崎直人

SHIBAZAKI Naoto

[キーワード Keyword] 礼儀, 道徳教育, 道徳教科書, 小学校, 挨拶

[所属 Institution] 岐阜大学大学院教育学研究科(Graduate School of Education, Gifu University)

[要 旨 Abstract]

本研究では小学校の道徳教科書における道徳的価値「礼儀」の教材に注目し、その学年および月に関する配置の傾向について、平成31（令和元）年度に日本国内において発行された小学校の「特別の教科 道徳」の全ての教科書 8社48冊1672教材を手掛かりとして、現代の小学校道徳教育における「礼儀」の教材の在り方について考察した。その結果、道徳教科書における「礼儀」の72教材については、高学年になるほどその掲載率が下がる傾向にあることを明らかにした。そしてまた、「挨拶」に関する内容が、低学年のみならず、中学年及び高学年でも採用されしかも中学年よりも高学年の方が「挨拶」に関する内容の採用数が多くなっている現状を指摘した。

1. はじめに

「礼儀」の教育はわが国の教育における基礎的かつ重要な学習内容として、家庭教育はもとより、社会教育及び生涯学習においても普遍的なテーマとして扱われている。特に学校教育においては、特別の教科 道徳における内容項目の一つとして、小学校1年生から中学校3年生にわたってその学びの必要性が学習指導要領にも示されており、それは特別活動及び各教科や領域においてさまざまな形でその学びの充実が図られている。

たとえば特別活動においては旅行・集団宿泊の行事における公共の場でのマナーの実践がなされる。また各教科においては始業時・終業時の「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」といった挨拶の指導が行われる。給食の時間には食事のマナーに関する各種指導がなされ、登下校時には横断歩道や歩道での交通マナーに関する実践が行われている。

これほど我が国の学校教育においてその学びが日常的かつ実践的に日々行われている「礼儀」の学びであるが、道徳教育としての「礼儀」は、現在は教科書を用いるなどして行われる「特別の教科 道徳」の時間を要して学校教育全般で展開されるものであり、これは教科化以前の「道徳の時間」においても同様であった。教科化される前は検定教科書のかわりに「副読本」が用いられていた。

この小学校道徳副読本における「礼儀」の内容について、柴崎は、「礼儀」は高学年になるにつれ扱いが少なくなる一方で、高学年においてもなお、その内容が挨拶に偏る傾向が見られること、そして「礼儀」にかかわる「動作」が挨拶を除けば6年間に各社わずか1～3例ときわめて少ないことにみられる副読本作成関係者における「礼儀＝挨拶」との固定観念の存在と、日常生活における「礼儀」の具体的な内容への認識の低さを指摘した（柴崎直人、2012）。あわせて、副読本の内容には、日常の場面に多様に応用可能な「作法」が示されるものがみられる一方で、「礼儀」を扱う資料として妥当性の低い教材の存在も確認されており、道徳教育における「礼儀」の指導に関する教材としては、挨拶に偏らない多様な内容の選定と、「動作」に関する教材の増加、適切な教材の採択、日本の伝統文化である「礼法」への関心が必要であることを指摘している。

本研究では小学校の道徳科教科書における道徳的価値「礼儀」の教材に注目し、その学年および学期に関する配置の傾向及びその内容について明らかにし、現代の小学校道徳教育における「礼儀」の教材の在り方について考察する。

2. 方法

平成31(令和元)年度の日本の小学校用「特別の教科 道徳」の教科書として発行されたもの全てに当たり、各出版社が「礼儀」の教材として示したものを抽出した。教材を「礼儀」として抽出するにあたっては、各教科書の巻末に「資料内容一覧」や、「学習指導要領との関連」、といった形で掲載される表において、「B-(8)礼儀」(第1学年から第4学年)「B-(9)礼儀」(第5学年及び第6学年)と示している情報を用いた。

分析対象とした教科書は、平成31(令和元)年に日本国内において発行された小学校の「特別の教科 道徳」の教科書(以下「道徳科教科書」)全てである。その総数としては、全8社が1学年から6学年向けに発行した48冊である。出版社の内訳は以下の通りである。

株式会社学研教育みらい(以下「学研」)、学校図書株式会社(以下「学校図書」)、教育出版株式会社(以下「教育出版」)、廣済堂あかつき株式会社(以下「廣済堂あかつき」)、株式会社光文書院(以下「光文書院」)、東京書籍株式会社(以下「東京書籍」)、日本文教出版株式会社(以下「日本文教出版」)、光村図書出版株式会社(以下「光村図書」)。なお、「別冊」などのある教科書についてはそれらも含め、ある出版社のある学年で複数の冊子が用いられる場合にはそれらを「1冊」として扱った。

3. 結果と考察

3.1. 教材数

道徳科教科書全48冊のうち、「礼儀」に関わる教材総数は72であった。なお、1冊の教科書に掲載されている全教材数は、全ての出版社において小学校1年用のものが34教材及び補足教材、小学校2～6年用のものが35教材及び補足教材であった。8社の総教材数は1年が272、2～6年がそれぞれ280、総計1672であった。

なお、「礼儀」に関する72の教材は表1に示すようなものであった。

3.2. 資料数における「礼儀」の占める割合

いずれの出版社も1～2年では1冊の教科書に「礼儀」の教材を2種類(教育出版の1年では1種類、日本文教の1年では3種類)掲載している。また、中学年から高学年にかけて掲載本数が少なくなり、5・6年においては全社が1種類のみ掲載となっている。つまり「礼儀」の学びは学年が進むにつれて、1～3年のときほど教科書において求められなくなる傾向がうかがえる。出版社によっては「礼儀」を積極的に扱うか否かの差が見られた。たとえば1年から6年までの6年間の合計では、日本文教では12教材であるのに対し、学研、学校図書、東京書籍、光村図書は8教材であった。

総教材数に占める「礼儀」教材の割合を確認したところ、1年では学年教材数の約5.9%、2年生では約6.1%を占めているが、学年の進行につれ割合は減少して行き、5・6年では約2.9%と半減することが確認できる。ちなみに「礼儀」「規則の尊重」などの平成27年告示の『小学校学習指導要領』に示される道徳科の学習内容項目数は、1・2年16、3・4年18、5・6年22であるため、1項目あたりの占める割合は、1・2年約6.3%、3・4年約5.6%、5・6年約4.5%となる。実際の教科書では「礼儀」は1年約5.9%、2年約6.1%、3年約4.3%、4年約3.9%、5年約2.9%、6年約2.9%をそれぞれの学年の総教材数において占めており、1項目あたりの理論値と比較した場合には高学年になるほど掲載される率が低くなる。

表1 小学校道徳科教科書における「礼儀」の教材名と掲載学年

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
学研1	あかるい あいさつ	青いアルバム	エチケットかるた	思いがけないあいさつ	どろだらけのユニフォーム	心にふく風	6
学研2	ぼっかぼか	広がるあいさつ					2
学校図書1	あいさつ	ごあいさつ ごあいさつ	言葉のまほう	生きた礼ぎ	あいさつの力	人間をつくる道— 剣道 —	6
学校図書2	大きなこえでいえるといいな	まいちゃんのえがお					2
教育出版1	あいさつのことば	知らない 人にも	かりたかさ	あいさつでつながる[スキル]	心をつなぐあいさつ[スキル]	礼ぎ作法と茶道	6
教育出版2		れいぎ正しい あいさつ	どうしていけないのかな[スキル]	かわいくない			3
廣済堂あかつき1	こんなときなんていうの	たびに 出て	電話のおじぎ	言葉のまほう	礼儀作法にこめられた心	客には言わんのですか	6
廣済堂あかつき2	わんぱく だいちゃん	ふわふわことば ちくちくことば	心と形が一つになって	フィンガーボール			4
光文書院1	あいさつで しあわせに	おもいきって いてごらん	電話のおじぎ	お礼の手紙	日本の心とかたち— 真・行・草 —	温かいおまんじゅう	6
光文書院2	だいな わすれもの	小さな できごと	生きたれいぎ				3
光文書院3	スポーツと おじぎ						1
東京書籍1	あいさつ	いそいで いても	あいさつをすると	「ありがとう」の言葉	オーストラリアで学んだこと	心を形に	6
東京書籍2	おうだんほどうで	「あいさつ」っていいいな					2
日本文教1	あいさつ	たけしの 電話	足りない気持ちは何だろう	あいさつができた	あいさつ運動	人間をつくる道— 剣道 —	6
日本文教2	なんて いえばいいのかな	さて、どうかな	れいぎ正しい人	フィンガーボール			4
日本文教3	どんな あいさつを しますか	あいさつが きらいな 王さま					2
光村図書1	おしゃべり	あいさつがきらいな 王さま	あいさつ名人	土曜日の学校	あいさつって	「すまへん」でいい	6
光村図書2	わすれている こと、なあい	あいさつ月間					2
	17	17	12	11	8	8	73

3.3. 教科書記載の年間計画における「礼儀」教材の配置

すべての道徳の教科書においては、出版社によって年間35種類（1年は34種類）の教材が巻頭から番号を振られて配置されていた。各出版社が例示する年間指導計画においては4月の第1回授業が1番の教材とされ、3月の最終回の授業を35番（1年は34番）として順に授業が進められるように構成されている。これらの配置における「礼儀」の計画用上の実施月を集計したのが表2および表3である。同一の教科書に「礼儀」の教材が複数あるものは、巻頭により近く配置されるものを1本目として表2に、それ以降の2本目および3本目を「2本目以降」として合算し、表3に集計した。

表2では1本目の教材配置が年度初めに集中する現象が見られる。1年の教材の殆どが4月と5月に配置され2年では集中的に4・5月に配置される。

3年以降は4・5月と9月・10月、そしてそれ以降の2群に分かれ、学年が上がるに従い遅い時期に配置される。

表3では、1・2年における2本目として、おもに10月以降に分散して配置されている点が特徴的である。

1本目は学年発足時の4・5月に置くが、2本目についてはそのような意図は特に見られないことになる。1本目が4・5月と9・10月に集中して配置される傾向が見られるのは、後述のように「挨拶」に関する内容が教材の大半を占めるからと考えられる。

表2 礼儀教材〔1本目〕配置月

配置月	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	3	1	2	2	1	2
5月	4	4	1	1	1	1
6月	1			1	1	
7月						
8月						
9月		1		2	2	1
10月		1	2	1	2	
11月		1	2		1	1
12月			1			
1月						1
2月				1		2
3月						

表3 礼儀教材〔2本目以降〕配置月

配置月	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月						
5月						
6月						
7月	1					
8月						
9月				1		
10月	2	2	1			
11月	2	2				
12月	2		1			
1月		2	1	1		
2月	1	3		1		
3月			1			

これら2本目以降も唯一、1学期の7月に2本目の「礼儀」の教材を配置したものが日本文教1年教材の「たいせつな ことば」である。出版社側の「ねらい」は、「『ありがとう』『ごめんなさい』の言葉を言ったときと言わないときの互いの気持ちの違いを考えるを通して、気持ちのよい挨拶、時と場に合った言葉遣い、動作を心掛けようとする態度を養う。」というものである。

日本文教1年教科書における「礼儀」に関する教材の一本目は、入学後第3回目の授業として5月に配置されており、5月と7月に「挨拶」と「言葉」という、基本的な生活習慣の基礎を入学初期に学ばせようとする配慮がうかがえる。

「挨拶」「言葉」という題材については、平成29年告示の『小学校学習指導要領』第3章特別の教科 道徳 第2内容B「主として他の人とのかわりに関すること」で、

〔第1学年及び第2学年〕 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。

とあり、「礼儀」の内容として明確に位置づけられているため、1年と2年の教科書では必ず関係する教材が示されることとなっている。

なお他の学年については、次のように示されている。

〔第3学年及び第4学年〕 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接すること。

〔第5学年及び第6学年〕 時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。

つまり3・4年では「礼儀」の大切さと真心をもって接することを学び、5・6年では時と場をわきまえること、いわばTPOを踏まえた「礼儀」について学ぶ。1・2年の「挨拶」「言葉」を含め、これらの内容は教科化以前と変わっていない。

ところが実際には、3年以上の学年で、4・5月に配置されている11本の教材の内容を確認すると、廣済堂あかつき4年「言葉のまほう」、光文書院6年「温かいおまんじゅう」、光村図書6年「『すんまへん』でいい」の3本を除く8本の教材が、なんらかの形で「挨拶」を扱うものであった。

以上から、道徳科教科書における「礼儀」に関する教材の内容としては、1・2年では平成29年告示の『小学校学習指導要領』のねらいどおり、そのすべてが「挨拶」「言葉」に関するものであるが、3年以降の各学年においても4・5月に配置される「礼儀」の内容の約7割以上が、なお「挨拶」に関するものを扱っていることが確認された。

3.4. 「挨拶」に関する教材の偏重

では小学校道徳科教科書の（※加筆後→）「礼儀」を扱っている総教材数における「挨拶」の占める割合はどのような状況にあるのか。

表4からは、8社の全72教材のうち「挨拶」を題材とする教材が53本を占めていることがわかる。つまり道徳科教科書における「礼儀」の教材の、実に73.6%が「挨拶」に関する内容なのであった。

平成29年告示の『小学校学習指導要領』における「礼儀」内容項目の該当学年については、1・2年に関する内容が「挨拶・言葉・動作」、3・4年が、「大切さ・真心」、5・6年が「時と場・形と尊重」となっている。そのため、表4においては低学年である左側から高学年となる右方向にかけて「挨拶」の出現度は小さくなっていくはずである。しかし実際には必ずしもそうになっていない。特に高学年の5・6年における「挨拶」の出現数は13であり、中学年の3・4年の11よりもその数値が高いものとなっていることがわかる。これは高学年においてもなお、「挨拶」が教材の内容として扱われる傾向が強いことを示している。

「挨拶」が「礼儀」の教材として重要であることは当然といえよう。しかしながら「大切さ・真心」や「時と場・形と尊重」といった、児童の発達段階に応じた多様な内容の教材を提示することで、「礼儀」という価値項目への学びの手掛かりを一層豊かに提供することができるのではないか。

表4 出版社別「挨拶」教材数

出版社名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
学研	2	2	1	1	0	1	7
学校図書	2	2	0	0	1	1	6
教育出版	1	2	1	1	1	1	7
廣済堂あかつき	1	1	1	0	1	1	5
光文書院	2	2	0	0	1	0	5
東京書籍	2	2	1	1	1	1	8
日本文教	2	2	1	1	1	1	8
光村図書	2	2	1	1	1	0	7
計	14	15	6	5	7	6	53

4. おわりに

本研究では小学校の道徳科教科書における道徳的価値「礼儀」の教材に注目し、その学年および学期に関する配置の傾向について明らかにし、現代の小学校道徳教育における「礼儀」の教材の在り方について考察した。

その結果、道徳科教科書における「礼儀」の教材は、高学年になるほどその掲載率が下がる傾向にあることが明らかになった。そしてまた、「挨拶」に関する内容が、低学年のみならず、中学年及び高学年でも採用されている現状が確認された。しかも中学年よりも高学年の方が「挨拶」に関する内容の採用数が多くなっていた。

このようにあまりに「挨拶」に偏重している道徳科教科書の「礼儀」の教材内容であるが、高学年になるほど挨拶から離れて多様な内容を選択することが望ましいと思われる。児童におけるさまざまな体験を手掛かりとして多様な視点からの学びを果たすことが、「礼儀」に関するより望ましい成果につながると考えられるのである。

参考文献

柴崎直人「小学校道徳副読本における「礼儀」の扱われ方」、『日本道徳教育学会紀要 道徳と教育』No.330、pp.21-31、2012年。

文部科学省『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別の教科 道徳編』廣濟堂あかつき、2018年。

参考文献（「特別の教科 道徳」教科書）

学校図書株式会社『かがやけ みらい 1ねん』、2019年。

学校図書株式会社『かがやけ みらい 2年』、2019年。

学校図書株式会社『かがやけ みらい 3年』、2019年。

学校図書株式会社『かがやけ みらい 4年』、2019年。

学校図書株式会社『かがやけ みらい 5年』、2019年。

学校図書株式会社『かがやけ みらい 6年』、2019年。

株式会社学研教育みらい『みんなのどうとく 1ねん』、2019年。

株式会社学研教育みらい『みんなのどうとく 2ねん』、2019年。

株式会社学研教育みらい『みんなのどうとく 3ねん』、2019年。

株式会社学研教育みらい『みんなの道徳 4年』、2019年。

株式会社学研教育みらい『みんなの道徳 5年』、2019年。

株式会社学研教育みらい『みんなの道徳 6年』、2019年。

株式会社光文書院『しょうがくどうとく 1ねん』、2019年。

株式会社光文書院『小学どうとく 2年』、2019年。

株式会社光文書院『小学どうとく 3年』、2019年。

株式会社光文書院『小学どうとく 4年』、2019年。

株式会社光文書院『小学道徳 5年』、2019年。

株式会社光文書院『小学道徳 6年』、2019年。

廣濟堂あかつき株式会社『みんなでかんがえ、はなしあう しょうがくせいの どうとく1』、2019年。

廣濟堂あかつき株式会社『みんなで考え、話し合う しょうがくせいの どうとく2』、2019年。

廣濟堂あかつき株式会社『みんなで考え、話し合う しょうがくせいの どうとく3』、2019年。

廣濟堂あかつき株式会社『みんなで考え、話し合う しょうがくせいの どうとく4』、2019年。

廣濟堂あかつき株式会社『みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 5』、2019年。

廣濟堂あかつき株式会社『みんなで考え、話し合う 小学生の道徳 6』、2019年。

教育出版株式会社『小学どうとく1 はばたこう あすへ』、2019年。

教育出版株式会社『小学どうとく2 はばたこう明日へ』、2019年。

教育出版株式会社『小学どうとく3 はばたこう明日へ』、2019年。

教育出版株式会社『小学どうとく4 はばたこう明日へ』、2019年。

教育出版株式会社『小学道徳 5 はばたこう明日へ』、2019年。

教育出版株式会社『小学道徳 6 はばたこう明日へ』、2019年。

光村図書出版株式会社『どうとく1きみが いちばん ひかるとき』、2019年。

光村図書出版株式会社『どうとく2きみが いちばん ひかるとき』、2019年。
光村図書出版株式会社『どうとく3きみが いちばん ひかるとき』、2019年。
光村図書出版株式会社『どうとく4きみが いちばん ひかるとき』、2019年。
光村図書出版株式会社『道徳5きみが いちばん ひかるとき』、2019年。
光村図書出版株式会社『道徳6きみが いちばん ひかるとき』、2019年。

日本文教出版株式会社『しょうがく どうとく いきるちから 1』、2019年。
日本文教出版株式会社『小学どうとく 生きる力 2』、2019年。
日本文教出版株式会社『小学どうとく 生きる力 3』、2019年。
日本文教出版株式会社『小学どうとく 生きる力 4』、2019年。
日本文教出版株式会社『小学道徳 生きる力 5』、2019年。
日本文教出版株式会社『小学道徳 生きる力 6』、2019年。

東京書籍株式会社『あたらしいどうとく①』、2019年。
東京書籍株式会社『新しいどうとく②』、2019年。
東京書籍株式会社『新しいどうとく③』、2019年。
東京書籍株式会社『新しいどうとく④』、2019年。
東京書籍株式会社『新しい道徳⑤』、2019年。
東京書籍株式会社『新しい道徳⑥』、2019年。

資料 小学校道徳科教科書「礼儀」教材掲載状況詳細

B礼題	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	1年	掲載箇所	2年	掲載箇所	3年	掲載箇所	4年	掲載箇所	5年	掲載箇所	6年	掲載箇所
みんなの道徳 学研1	いあかるい さつあ	1月1(4) 8(1)	青い アルバム	9p活5 文(5月) 8(生)	るエ た チケット か	1月19 (10) 8(生) 3(資) 8(料) 2(2)	あ思 いさつ いがけ ない	6p活8 文(6月) 6(生) 3(生)	ユド ニろ だら フオ 1ム け	6p生14 文(9月) 6(7)	心 に ふく 風	11生3 54活3 18文(2月)
学研2	ぼつか ぼか	8月2 4(3) 5(生) 8(文) 5(1)	つ広 がる あい さつ	1p生3 文(2月) 8(2)		1p月2 7(1) 9(2) 3(2)						
かがやけ いみ る 学校図書1	あい さつ	2p 4(8月) 8(1) 9	ごあ いさつ	1p月2 文(11) 8(1)	言 業の まほう	8p月5 5(1) 8(2) 4	生 きた 礼ぎ	1p月1 8(10) 7(9) 7(10) 8	あ い さつ の 力	1p7 1(6月) 8(8月)	道 人 間 を つ く る	11p月2 0(4) 4(1) 1(1)
学校図書2	ない え る と い い え い	1p月3 1(0) 1(2) 0	え ま い ち や ん の	11p生3 1(2月) 3(2)								
はばこ 教育出版1	こと あ い さつ の	7p生3 6(5月) 6	に も 知 ら な い	1p月2 1(4月) 1(8)	か り た か さ	1p月8 1(10月) 4(8)	ル な あ い さつ て つ	4p生8 7(9月) 4(4)	ル い さつ つ な く あ	1p2 1(4月) 8	道 礼 ぎ 作 法 と 茶	9月1 5(1) 9(7)
教育出版2		1p月0 9(6月) 1(8)	の あ い さつ つ し い	1p月2 6(5月) 0(11) 5(1)	ど う し て い け な い か な	1p月1 3(7月) 3(2)	か わ い く な い	1p生8 5(9月) 1(4) 8				
みんな の あ い さつ 又 き	の ん な ん て い う き	3p 5(8月) 9	た び に 出 て	1p月5 6(5月) 1(4)	電 話 の お じ ぎ	2p月4 4(7月) 9	言 業 の ま ほう	2p生4 4(4月) 7(9月) 9	め れ た 心 に こ	1p生6 6(7月) 7(9月) 9	客 に は 言 わ ん な い	1p生6 7(9月) 9
廣 済 堂 あ か つ き2	い わ ん ば く い ち や ん	6p月2 1(11) 6(4)	ご ぼ ろ ち く こ と	1p月4 4(11) 4	心 と 形 が 一 つ	9p月2 1(10月) 1(0)	ポ イ ン ト	9p生2 7(10月) 1(0)				
光 文 書 院 1	し あ い さつ で	22 1(14月) 3	い つ て ご ら ん ご と	3p月7 7(5月) 3(0)	電 話 の お じ ぎ	1p生3 7(4月) 7(6)	(お 礼 の 手 紙)	1p生3 4(2月) 4(4)	行 ち の 心 と か ら 真	12 2(10月)	じ 温 かい お ま ん	3 (4月)
光 文 書 院 2	す だ い じ な わ	9p月2 9(8月) 1(2)	小 さ な で き	1p生2 8(11月) 1(10)	生 き た れ い ぎ	1p月2 7(12) 2(11) 1(8)						
光 文 書 院 3	お じ ぎ	付 録										
東 京 書 籍 1	あ い さつ	1p生3 1(5月) 1(0)	て い そ い で い	1p月5 3(5月) 1(2)	あ い さつ ま ず	1p生4 7(5月) 6	「あ り が と う」 の 言 葉	1p生3 9(4月) 1(6)	と ア ー ス ト ラ リ	1p月1 8(10) 8(4)	心 を 形 に	1p生1 3(4月) 1(0)
東 京 書 籍 2	う で で お う だ ん ぼ ど	1p月2 7(12) 3	な つ あ い さ つ で い い	1p月1 5(10) 5(3)	あ い さつ の 間 は な い 利 権 で は な い お ん ご ん	1p生3 1(4月) 1(8)						
小 学 校 ど う と	あ い さつ	1p生5 7(5月) 1(6)	話 た け し の 電	8p月1 5(1) 2(0)	ち 足 り な い 気 持 人 れ い ぎ 正 し い	1p月2 1(1) 1(1)	ま い さつ が で	2p生4 1(5月) 8	ゲ 「あ い さつ 運 動」	1p生3 9(5月) 1(4)	道 人 間 を つ く る	1p生3 4(12月) 9(4月) 6
日 本 文 教 2	い ば な ん て い い の か な い え	1p生1 3(8月) 3(6)	行 な て ど う か か ら の ま ま	1p生2 8(2月) 5(2)		1p生3 5(3月) 5(3)	ポ イ ン ト	1p生3 5(2月) 7(2)				
日 本 文 教 3	さ ん な あ い	6p月1 1(7月) 5(10) 8	さ ま あ い さつ が ま ま	1p生2 4(12月) 4(0)								
光 村 図 書 1	お し や べ り	1p月6 5(6月) 1(4)	ま ま あ い さつ が ま ま	1p生1 6(9月) 4(6)	あ い さつ 名 人	11p月2 1(3月) 3(1)	土 曜 日 の 学 校	6p生1 7(9月) 3(6)	あ い さつ つ て	1p月2 1(3月) 7(1) 1(4)	ん 「す い ま へ	4月6 (5) 3(7) 7(3)
光 村 図 書 2	あ い さつ な い	1p月1 6(9月) 6(1) 4	あ い さつ 月 間	8p月1 5(8月) 2(0)				11p生3 5(2月) 9(2)		1p月2 3(11月) 1(1) 1(1)		